

# 東交通安全情報 No.2 令和8年3月末の交通事故概況(東警察署管内)

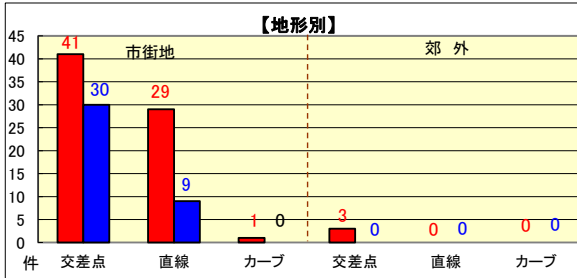
## 【交通事故発生状況】(概数)

区分/月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年	7年	前年対比
人身発生件数	63	74	74										211	140	71
死者数		1											1	2	-1
傷者数	66	77	86										229	149	80
物件事故	1,126	990	428										2,544	1,893	651

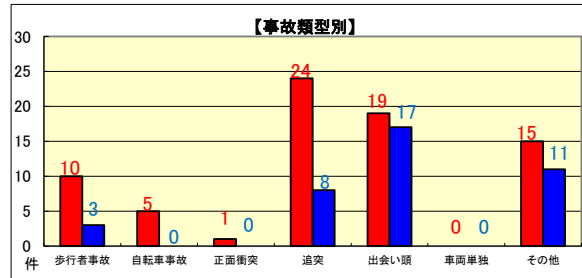
○ 先月と比較して人身事故は同数であったが、物件事故は大幅に減少した。

■ ~ 令和8年    ■ ~ 令和7年

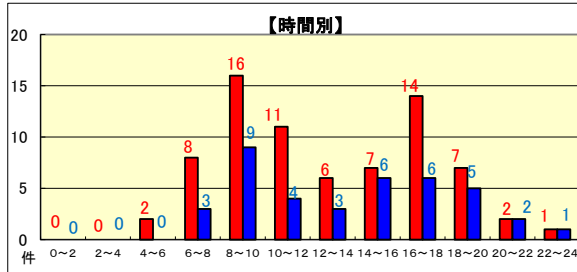
## 人身交通事故の主な特徴



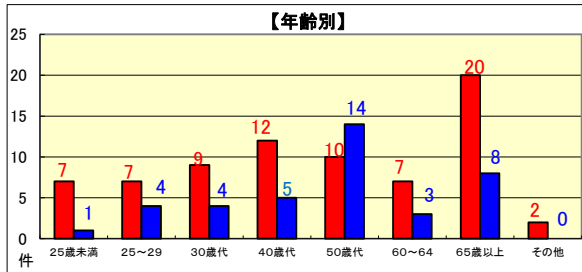
○ 昨年と比べ、市街地直線での事故が大幅に増加しているも、市街地交差点での事故が最も多く、全体の55.4%を占めている



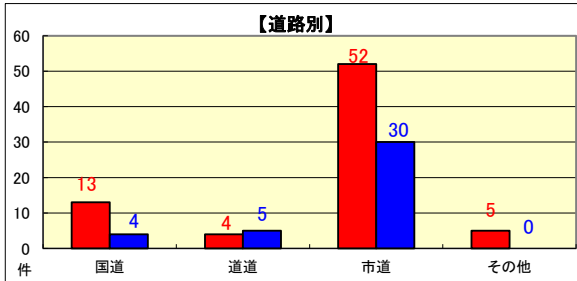
○ 昨年と比べ、追突が3倍に増加し、最も多い。次いで出会い頭による事故が多いが、昨年にはない自転車事故が5件発生している。



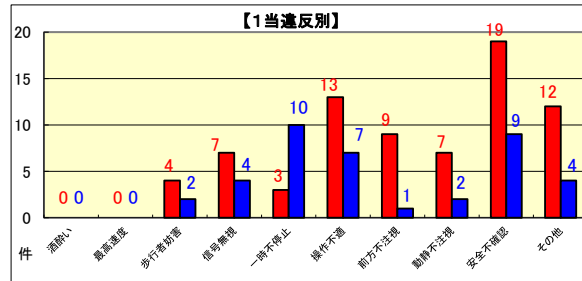
○ 昨年と比べ、6~10時台、16~18時台の事故が大幅に増加している。また、8~10時台の事故が最も多く、次いで16~18時台の事故が多い。



○ 昨年と比べ、50歳代の事故のみ減少し、その他の年代は増加した。65歳以上の事故が最も多く、全体の27%を占めている。



○ 昨年と比べ、道道での事故は減少した。市道での事故が最も多く、全体の70.3%を占めている。



○ 昨年と比べ、一時不停止による事故のみ減少し、その他は増加した。安全不確認による事故が最も多く、次いで操作不備による事故が多い。



今年は雪解けが早く、3月からの自転車利用者も増え、自転車事故も発生しました。

自転車の一定の違反に対する反則通告制度「青切符」が4月から始まっています。  
自転車・車を運転する方、歩行者皆さんが安全確認を十分に行い、事故を起こさない、被害に遭わないよう気をつけましょう。